



学校評価特集号
平成26年10月
京都市立柏野小学校
校長 塩見考次

第1回 学校評価へのご協力ありがとうございました

夏休み前に、今年度一回目の学校評価を行いました。お忙しい中、ご回答ありがとうございました。保護者の皆様からの評価とご意見を受けて、ここまでの課題をとらえ、その改善に向けて見直しを始めています。評価結果のうち、ぜひ一緒に考えたい点についてお知らせします。なお、評価票は児童数で配布し、回収率は77%でした。（前年度末は85%でした。）

子どもたちや教職員も、それぞれに学校評価を実施しています。また、学校運営協議会企画推進委員の皆様にも評価をお願いしています。

◎…よくあてはまる ○…どちらかといえばあてはまる △…どちらかといえばあてはまらない ×…あてはまらない
「◎」と「○」という結果が出た項目を、「達成している」項目と考えています。

◇保護者の方々からの評価結果

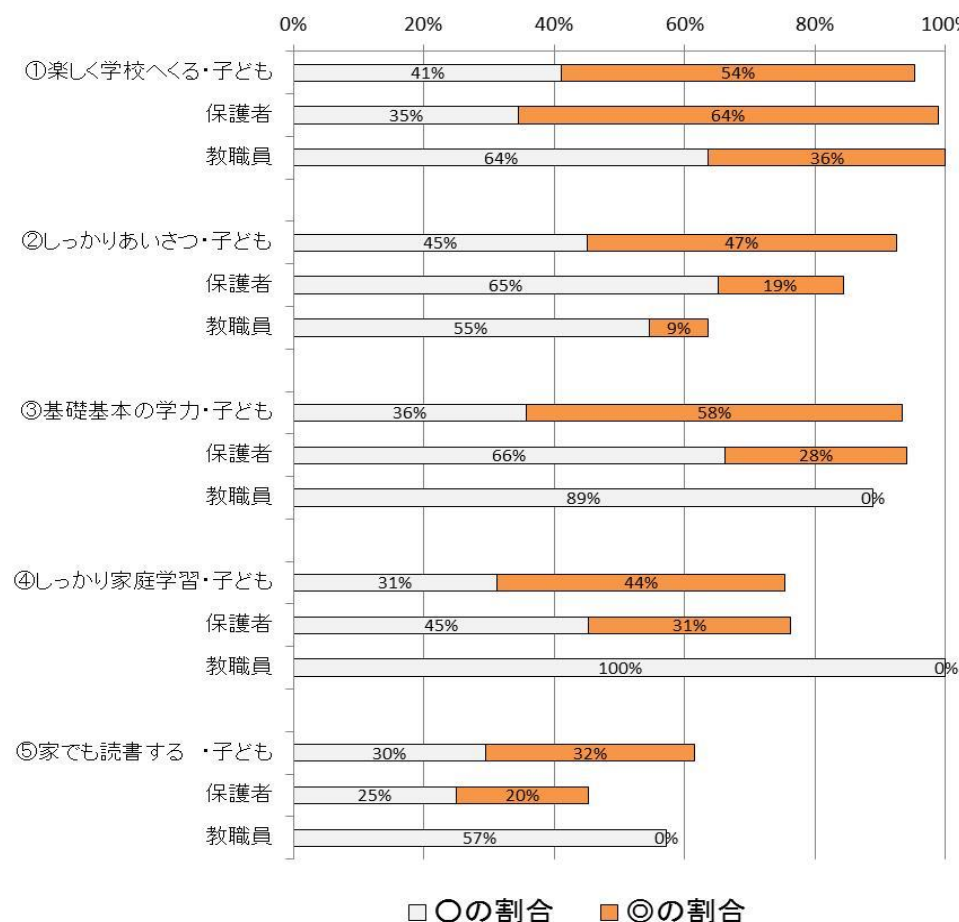
	保護者の方々に回答をお願いした評価項目		◎＋○の割合
学校の取組について	①	学校は、教育方針や取組を学校だよりや懇談会等の機会にわかりやすく伝えている。	100%
	②	学校は、一人一人の子どもを大切にしたい学校づくりに取り組んでいる。	98%
	③	学校は、様々な取組や行事を通して、家庭・地域と連携し、子どもの教育を進めている。	98%
	④	教職員が熱意をもって教育を進めていることが保護者に伝わっている。	98%
	⑤	学習の内容や進度を懇談会や学年・学級通信等によってよく知ることができる。	99%
	⑥	子どものことについて学校に気軽に相談できる。	95%
	⑦	教職員は、保護者や来訪者などにていねいに対応している。	98%
子どもについて	⑧	子どもは、楽しく学校へ行っている。	99%
	⑨	子どもは、しっかりとあいさつができています。	84%
	⑩	子どもは、学習内容が理解でき、基礎的な学力が身についている。	94%
	⑪	子どもは、自らの学習課題をもって、宿題など家庭学習を決められた時間（15分×学年）取り組んでいる。	76%
家庭で	⑫	子どもは、家でも15分くらいは読書している。	45%
	⑬	家庭では、早寝早起き、持ち物の用意など、基本的な生活習慣が身につくようにしている。	89%
	⑭	家庭では、子どもの話を受けとめ聞くようにしている。	98%

⑫「子どもは家でも15分くらいは読書している。」という項目以外は、全般に高い評価結果となりました。少数でも△や×の評価をいただいた項目、また達成していても◎の割合が低い項目については、すぐに原因をさぐり検討し、改善していくという姿勢で、保護者・地域の皆さんとともにさらに柏野小学校教育をより高める取組を行っていきます。

◇「子どもたちのようす」について…代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、子ども・保護者・教職員の評価に共通する内容の項目です。

評価項目の主旨	◎＋○の割合		
	子ども	保護者	教職員
①楽しく学校へきている。	95%	99%	100%
②しっかりあいさつしている。	93%	84%	64%
③基礎・基本の学力を身につけている。	93%	94%	89%
④しっかり家庭学習に取り組んでいる。	75%	76%	100%
⑤家でも15分くらいは読書している。	62%	45%	57%



▼「楽しく学校へきている」

三者とも95%以上の評価結果となりました。しかし、△や×をつけた子どもが数名いることを重く受けとめ、その原因を見極め、解決していけるように働きかけます。今後も、みんなが楽しい学級、学校づくりを目指し、きめ細かく対応していきます。

▼「しっかりあいさつをしている」

今回も、子どもたち自身は90%以上の達成率ですが、保護者は80%台、教職員は60%台に留まりました。特に教職員は昨年度と比べてもさらに低い結果となりました。また今回、学校運営協議会企画推進委員の方々からの評価も下がり気味で、50%の達成率になっています。あいさつをしない子はいませんが、「相手の目を見て、大きな声で自分からあいさつができる」という点では、まだまだなのではないでしょうか。大人がしているところを見せることも大切です。その時は少しオーバー気味がよいでしょう。周りの大人から声かけを続けていきましょう。

▼「基礎・基本の学力を身につけている」

子どもたちには、「先生と一緒にする勉強はよくわかりますか」という質問事項で、身についた学力の評価とは言えませんが、学校でしっかり学習し、学ぶ楽しさを感じてくれていると捉えています。昨年度とほぼ変わらない結果ですが、今後も、子どもたちに基礎・基本の学力が身につくよう、少人数の特性を生かしたきめ細やかな授業や学習時間の確保等を行っていきます。

▼「しっかり家庭学習に取り組んでいる」

昨年同時期とほぼ同様の結果となっています。教職員からの評価については、昨年度も一回目はよく、二回目はがたと下がったので、年間通してご家庭で意識してくださいとお願いしていました。放課後まなび教室だけでなく、確実な家庭学習の習慣化を目指して、子どもたちに目をかけ、声をかけ、手をかけてやってください。そして、自分の課題を自力でやり切れることを目指しましょう。

▼「家でも15分くらいは読書している」

評価結果が芳しくないのは、ここ数年来の傾向です。子どもたちの家庭での時間の使い方や習慣なども大きく関わりますので、大きな視野で、子どもたちの生活を見つめ直し、本に親しむ時間や機会を意図的につくってみてください。子どもだけでなく、ご家族の方も一緒に楽しめるよう考えることが大切です。学校では引き続き、学習指導はもちろん子どもたちの読書意欲につながるよう、ノーテレビノーゲームデー、ママママの日、読書週間の設定、読書マラソン等々取り組んでいきます。地道に改善していく課題ですので、学校・家庭共々働きかけていきましょう。

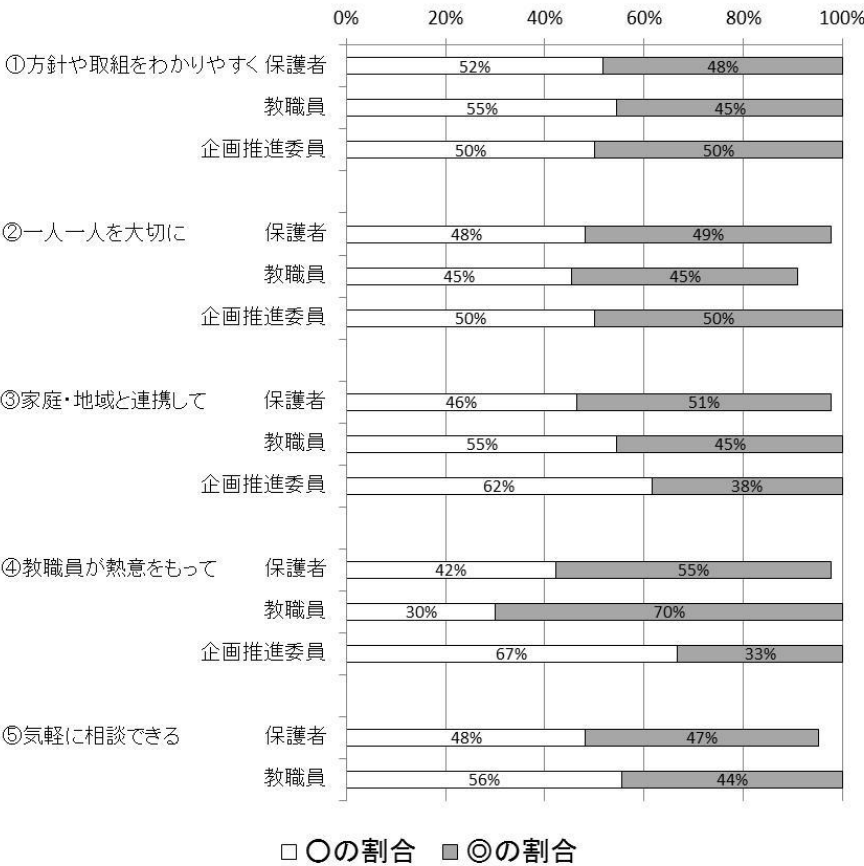
▽学校運営協議会 企画推進委員の方々のご意見より

「教職員の方々の対応がやさしい。」「教職員がいろいろな場面で子どもがよくわかるよう丁寧に指導している。」というご意見がありました。また、「子どもたちとコミュニケーションを取りたいが、昨今の社会情勢から子どもたちに声をかけにくいときもある。さらに世代間のコミュニケーション不足が進むのでは…。」といったご意見もいただきました。

◇「学校の取組」について …代表的な5項目の結果を比較

この5項目は、保護者・教職員・企画推進委員の評価に共通する内容の項目です。

評価項目の主旨	◎＋○の割合		
	保護者	教職員	企画推進委員
①方針や取組をたより等でわかりやすく伝えている。	100%	100%	100%
②一人一人の子どもを大切にされた学校づくりに取り組んでいる。	98%	91%	100%
③家庭・地域と連携して、教育を進めている。	98%	100%	100%
④教職員が熱意をもって教育を進めている。	98%	100%	100%
⑤子どものことについて気軽に相談できる。	95%	100%	



▼5項目どれも高い評価をいただきました。昨年度末の評価結果と比較しても、さらにより評価となりました。教職員の今後の取組のはげみとし、さらに努力を重ねていきます。

もちろん、保護者の方々が△や×をつけられた項目、また記述欄へのご意見やご指摘は、一つ一つ真摯に受け止め、よりよくなるよう改善していくことには変わりありません。